

第2学年道徳科（人権）学習指導案

1 主題 仲よく助け合って

2 主題設定の理由【省略】

3 ねらい

思い込みや偏見が相手を傷付けてしまうことを理解し、相手の気持ちを考えて行動し、友達と仲よく助け合って生活しようとする態度を育てる。

4 指導計画

〈これまでの学習〉			
○道徳科	「こわれたえんぴつたて」（ひかり）	1時間	（エ）
○道徳科	「ドッジボール」（ひかり）	1時間	（ア）
〈本時の学習〉			
○道徳科	「ひろみちゃんとゆみちゃん」（ひかり）	2時間（本時2／2）	（ア）
〈これからの学習〉			
○国語科	「お手紙」（光村図書）	1時間	（ア）
○生活科	「こんなに大きくなったよ」	2時間	（イ）

*なかまの像への思い （ア）友情 （イ）前進 （ウ）希望 （エ）やさしさ

5 本時の学習

(1) 目標

相手の気持ちを考えながら自分の思いや考えを伝え合い、友達と仲よく助け合って生活していこうとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	B－（9） 友情，信頼
なかまの像への思い	（ア）友情

(2) 普遍的な学習のテーマ なかまづくり

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;"> 「わたし」のために、じぶんにできることはなんだろう。 </div>	<p>○ 前時の学習を振り返り、本時の学習の方向付けをする。</p>
<p>2 「わたし」がうれしくなったときのみんなの気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はげましてくれた 「ひろみ」と「ゆみ」 ・ こちらを見ていた 「よしお」と「とおる」 	<p>○ それぞれの人物の気持ちについては、多様な意見を認めた上で、どうしてそのような気持ちになったのかを考えることができるようにする。</p>
<p>3 「わたし」のために、自分にできることを考え、伝え合う。</p>	<p>○ 実際に教材の場面に自分がいると想定して考えることにより、具体的な発言や行動を引き出すことができるようにする。②</p>
<p>4 学習を振り返り、本時のまとめをする。</p>	<p>○ これからの生活で自分にできることを考え、友達と仲よくし、助け合って生活していこうとする意欲を高める。①</p>

(4) 評価

- ・ 友達と仲よく助け合って生活していこうとする意欲を高めることができたか。
(価値的・態度的側面) ①
- ・ 相手の気持ちを考えながら、自分の思いや考えを伝えることができたか。
(技能的側面) ②